

# 『地域政策学事典』における漢字語彙の分析

— 二字漢語を中心に —

木 暮 律 子

## An analysis of Kanji Vocabulary used in Regional Policy Dictionary

— With a Focus on Two-character Kanji Words —

Ritsuko KOGURE

### 要 旨

本稿では、地域政策学を学ぶ留学生のための学習語彙の選定を目的として、『地域政策学事典』に出現する二字漢語の分析を行った。二字漢語の出現範囲や出現頻度、難易度について調査し、共通学習語彙として254語、章別学習語彙として131語を選定した。留学生に対する指導においては、まず共通学習語彙を取り上げ、これらを習得したうえで、章別学習語彙のなかから各自に必要な語彙を選択して学習していくと効果的だろう。今後は、今回選定した漢字語彙をもとに、留学生の専門語彙学習に有効な教材を作成していきたい。

キーワード：地域政策学、留学生、漢字語彙、二字漢語、学習語彙

### Summary

This paper makes an analysis of two-character kanji words appearing in Regional Policy Dictionary, aiming to select the vocabulary which international students studying regional policy need to acquire. The author examined the range and frequency of appearance of two-character kanji words and their difficulty level, and selected 254 words as common vocabulary, 131 words as vocabulary by chapter. It may be effective for international students to study the common vocabulary to be learned at first and then to select the vocabulary necessary to learn for each student from the vocabulary by chapter. The author is seeking to prepare the study materials

effective for international students to study technical vocabulary based on kanji words selected through this study.

Key words: regional policy study, international students, kanji vocabulary, two-character kanji words, learning vocabulary

## I はじめに

日本の大学で学ぶ留学生が、講義の内容を理解し、研究活動に参加するためには、専門分野で使われる語彙を習得することが重要である。法学や経済学、医学の分野では、専門分野の語彙を学ぶための日本語教材や専門用語集、専門用語の学習辞典などが出版されているが<sup>1)</sup>、地域政策学部が設置されている大学は全国的にもまだ少なく、留学生のための専門日本語教材も見られないのが現状である。

木暮（2017）では『地域政策学事典』に出現する漢字について調査を行い、地域政策学を学ぶ留学生が優先的に学習すべき漢字143字を特定した。しかし、この調査は事典に出現する単漢字に着目したものであり、これらの漢字の使われ方については明らかになっていない。武田（2004）が述べているように、多出する漢字を取り出すだけでなく、自分の専門分野の専門書の読解に直接結び付くような適切な語が例示語として示されていないければ、学習効果は期待できないだろう。漢字指導においては単漢字の意味や読み方だけでなく、その漢字がどのように使われるのか理解できるよう、適切な例示語を学習語彙として選定することが重要となる。

そこで、本研究では、地域政策学を学ぶ留学生が、『地域政策学事典』を読解できるようになるにはどのような語彙を学ぶ必要があるのか、事典に出現する漢字を含む語彙（以下、漢字語彙）を取り上げ、学習語彙の選定を行う。

## II 調査方法

### (1) 調査資料

本研究では、木暮（2017）と同様に、『地域政策学事典』の第I部と第II部を漢字語彙抽出のための資料とした。この事典は、2011年に本学地域政策研究センターによって刊行され、地域政策学とは何かを初学者にもわかりやすく解説したものであり、以下のような3部構成からなる。

このうち、第I部と第II部は、教養教育から専門課程前段階（1～2年次の専門基礎科目）に学ぶべきものとして位置づけられており<sup>2)</sup>、第I部は12の基本政策、第II部は10の基礎知識について、各項目2頁にわたって説明されている。

本稿では、この22の項目を「章」と呼ぶことにし、22章に出現する漢字語彙の分析を行った。

『地域政策学事典』の構成

第Ⅰ部 地域政策を構成する基本政策

- 1 都市政策 2 住宅政策 3 農業政策 4 産業政策 5 交通政策 6 社会政策 7 文化政策  
8 教育政策 9 福祉政策 10 保健医療政策 11 環境政策 12 観光政策

第Ⅱ部 地域政策に関する基礎知識

- 1 ガバナンス 2 公共政策 3 政策科学 4 オペレーションズ・リサーチ 5 地方分権と地域主権  
6 地域概念と地域主義 7 地域政策 8 地域づくり 9 地域政策の担い手 10 市民参加と協働

第Ⅲ部 個別領域

- 1 地域行政 2 法制度と地域 3 都市・農村 4 地域経済 5 地域コミュニティ 6 地域福祉  
7 地域環境 8 地域観光 9 地域史

なお、分析にあたっては、各章のタイトルや節の見出しも調査対象に含めたが、本文に出現する出典を示す著者名や、本文末尾に記載されている執筆者名は調査対象から除いた。

## (2) 調査手順と抽出規則

まず、調査対象とした22章の文章を入力して、章ごとにタグを付けたテキストファイルを作成し、KH Coder<sup>3)</sup>を用いて形態素解析を行った。KH Coderでは、複合語の扱いに注意が必要なため、誤処理された語がないかを目視により確認し、武田(2005)及び工藤(2007)の抽出規

### 漢字語彙の抽出規則

- 1) 漢字語彙は、一字または二字を基本単位として抽出し、それぞれ「一字漢語」「二字漢語」として分類する。  
例：国→国、都府県→都/府/県、方向性→方向/性、制度化→制度/化  
法治国家→法治/国家、産業廃棄物→産業/廃棄/物
- 2) 漢字三字からなる語で、意味的にこれ以上分割できないものは、「三字漢語」として抽出する。  
例：行財政→行財政、許認可→許認可、動植物→動植物
- 3) 漢字二字からなる動作性名詞(サ変)、形容動詞、副詞は漢字だけを抽出し、「二字漢語」に分類する。  
例：注目する→注目、公平な→公平、同時に→同時
- 4) 「漢字一字+平仮名」の語は、それぞれの品詞によって分類する。その際、形容詞、動詞は基本形で抽出する。  
例：一つ→一つ(名詞)、新しく→新しい(形容詞)、思われる→思う(動詞)
- 5) 複合動詞はそのまま基本形で抽出し、「動詞」として分類する。  
例：生み出し→生み出す(動詞)、取り消され→取り消す(動詞)
- 6) 特定の規則により名詞化された語は、以下のように抽出し、分類する。  
例：豊かさ→豊か(形容動詞) 在り方→在る(動詞)/方(一字漢語)
- 7) 漢字を含む語で、上記以外の語は「その他」に分類する。  
例：赤ん坊→赤ん坊(その他)、想い出→想い出(その他)、仕組み→仕組み(その他)

則をもとに7つの規則に従って、解析結果から漢字語彙を抽出した。そして、Wordの検索機能を併用しながら漢字語彙の出現頻度、漢字語彙が出現する章の数及び章別の出現頻度を再度確認して修正し、分析のためのデータを作成した。

### Ⅲ 事典に出現する漢字語彙

前述した抽出規則に従って、『地域政策学事典』（以下、事典）に出現した漢字語彙を調査した結果、1,844語の異なり語を抽出することができた。表1は、抽出した漢字語彙の内訳を示したものである。

表1 事典に出現した漢字語彙の内訳

	一字漢語	二字漢語	三字漢語	名詞	動詞	形容詞	形容動詞	副詞	その他	合計
語数	134	1,357	12	24	242	32	5	21	17	1,844
割合	7.3%	73.6%	0.7%	1.3%	13.1%	1.7%	0.3%	1.1%	0.9%	100.0%

これを見ると、二字漢語が1,357語と最も多く、全体の73.6%を占めている。二字漢語は名詞として単独で出現するだけでなく、「地域／産業」「地方／公共／団体」「地域／主権／戦略／大綱」「地方／分権／改革／推進／会議」のように、複合語を構成する要素としても出現しており、造語力の高い語彙であると言える。増田ほか（2006）は、このような漢字二字からなる語を学ぶことによって、効率的に基礎医学術語を学習できるという考えに基づいて、『留学生のための二漢字語に基づく基礎医学術語学習辞典』を作成しているが、表1の結果から、地域政策学においても二字漢語を学ぶことの有効性が示唆される。そこで、次章以降では、事典に出現した1,357語の二字漢語を取り上げ、事典の読解に必要な学習語彙の選定を試みる。

### Ⅳ 事典に出現する二字漢語

#### （1）出現頻度の高い二字漢語

事典には1,357語の二字漢語が出現することが明らかになったが、これらすべての語を学習していくことは留学生にとって負担が大きく、効率的とは言えない。事典に出現する語のなかには、出現頻度が高いものもあれば低いものもあることから、まずは出現頻度による分析を行った。表2は、事典中に出現する上位40位までの二字漢語の出現頻度と、その語が出現する章の数及び日本語能力試験（以下、JLPT）の出題基準による語彙レベル<sup>4)</sup>を示したものである。

これを見ると出現頻度の高い語は、出現する章の数も多く、高頻出語が広範囲にわたって繰り返し出現する傾向にあることが読み取れる。しかし一方で、「農業」のように出現頻度は高くても、

表2 出現頻度上位40語

順位	語彙	出現頻度	出現章数	レベル	順位	語彙	出現頻度	出現章数	レベル
1	地域	313	21	N2N3	21	解決	36	11	N2N3
2	政策	299	20	N1	21	決定	36	10	N2N3
3	問題	112	16	N5	21	必要	36	16	N4
4	社会	99	18	N4	24	事業	35	10	N1
5	公共	77	13	N2N3	25	観光	34	3	N2N3
6	地方	73	15	N2N3	25	基本	34	12	N2N3
7	活動	63	13	N2N3	25	国家	34	4	N2N3
7	都市	63	7	N2N3	25	参加	34	8	N2N3
9	計画	61	10	N4	25	住民	34	10	N2N3
10	福祉	59	8	N1	25	推進	34	10	N1
11	産業	54	9	N4	31	科学	32	6	N4
11	市民	54	6	N4	31	課題	32	12	N1
13	環境	51	9	N2N3	31	農業	32	1	N2N3
14	行政	50	11	N1	34	医療	30	4	N2N3
15	文化	49	11	N4	34	経済	30	12	N4
16	住宅	47	2	N2N3	34	実現	30	15	N2N3
17	交通	46	6	N4	34	生活	30	9	N4
18	自治	44	10	N2N3	38	概念	29	9	N1
19	教育	40	4	N4	38	関係	29	12	N4
20	重要	37	15	N2N3	38	多様	29	12	N1

1つの章にしか出現しない語もあり、高頻出語のなかには複数の章に共通して出現する語もあれば、特定の章にしか出現しない語もあることがわかる。社会科学5分野（商学・経済学・社会学・国際政治学・法学）の基礎文献に出現する二字漢語について調査した今村（2014）は、5分野の総合ランキングの上位に位置する語であっても、特定分野で極端に使用度が高い場合があるため、それを自動的に社会科学共通語彙として認定することは適当ではないと述べているが、本研究においても、そのような分野による偏りを考慮に入れ、地域政策学における共通性という観点から、事典の読解に広く役立つ語彙を抽出する必要があると考える。

また、上位40語の語彙レベルに着目してみると、N1レベルの難易度の高い語がある一方で、N4やN5レベルのような難易度の低い語もあり、高頻出語のなかには、留学生にとって未習の語だけでなく、既習の語も含まれていると考えられる。したがって、留学生に対する語彙教育の観点からは、語彙の難易度も考慮に入れ、留学生が優先的に学習すべき語を抽出する必要がある。

次節では、このような2つの観点から、二字漢語の出現範囲と難易度を調査し、その結果をもとに、地域政策学を学ぶ留学生が共通して学習する必要のある語彙を選定する。

## （2）共通学習語彙の選定

事典に出現した1,357語の二字漢語のうち、1つの章だけに出現する語は778語（57.3%）、2

つ以上の章に出現する語は579語（42.7%）であった。特定の章だけに出現する語が過半数を占めるものの、複数の章に共通して出現する語も4割程度見られることから、まずは後者を中心に学習することで、地域政策学に広く出現する語彙を身に付けていくことができると考える。では、2つ以上の章に出現する二字漢語のうち、学習が必要な語はどのくらいあるのだろうか。表3は2章以上に出現する語の語彙レベルの内訳を示したものである。

表3 2章以上に出現する二字漢語の語彙レベル

	級外	N1	N2N3	N4	N5	合計
語数	94	160	266	48	11	579
割合	16.2%	27.6%	45.9%	8.3%	1.9%	100.0%

これを見ると、最も多いのはN2N3レベルの語であり、N4やN5といった難易度の低い語は全体の1割程度に過ぎないことがわかる。本学地域政策学部に在籍する留学生の、入学時におけるN1合格率は45.5%であることから<sup>5)</sup>、過半数の留学生にとっては、級外及びN1レベルの254語は未習の語である可能性が高い。そこで、複数の章に共通して出現し、留学生にとって未習の可能性が高い語を「共通学習語彙」と位置づけ、語彙の難易度をもとに該当する語を抽出した。

表4は、共通学習語彙をレベル別にまとめたものである。これらの語彙は、事典の読解だけでなく、講義の理解においても必要な語であると考えられ、できるだけ早い段階から読み方や意味を押さえておくことが重要であると言える。

表4 共通学習語彙一覧 (254語)

級外 (94語)	委譲、委任、解消、画一、閣議、活性、既存、脅威、競合、協働、協同、共有、均等、近年、空洞、顕著、公益、考察、構築、硬直、公的、高齢、国内、最大、財団、最適、策定、参入、支援、自給、施策、質的、諮問、社員、集権、重層、集約、首長、上記、商工、少子、条例、諸国、初頭、事例、進捗、水質、衰退、数値、税込、戦後、前述、先進、戦略、創出、創設、総理、代替、胎児、対置、大量、多数、追求、提言、当該、東京、答申、特性、取組、難民、人々、表明、付加、部局、部隊、物流、分化、分権、平成、便益、編成、包括、法人、法定、補完、文部、要件、欲求、立案、理念、留意、両者、量的、連携
N1 (160語)	悪化、育成、一括、運営、大幅、改革、介護、階層、概念、開発、格差、各種、確保、確立、河川、課題、合併、勧告、観点、関与、官僚、緩和、機構、規制、犠牲、規定、規範、規模、救済、協議、行政、居住、緊急、形成、形態、決議、権限、減少、健全、原則、限定、権力、行為、交渉、向上、後半、効率、国土、個々、個性、個別、固有、雇用、災害、財源、再生、財政、作用、資格、事業、自己、施行、事項、自主、施設、持続、実情、実践、実態、指摘、視点、使命、充実、柔軟、従来、主権、種々、主体、手法、所得、処分、自立、審議、振興、進行、人材、進展、推進、成果、政策、成熟、制定、制約、世帯、設置、設定、設立、前提、総合、創造、相対、促進、側面、対応、対等、達成、他方、多様、治安、挑戦、直面、通常、定義、提供、提示、手順、転換、点検、同意、統合、動向、導入、独自、取引、内閣、内部、認識、農地、背景、廃止、排除、配分、配慮、発生、福祉、不明、部門、分担、分配、変革、変動、方策、保護、補助、保障、補償、慢性、身近、密接、密度、名称、模索、優先、誘導、要因、立法、領域、良好、良質、理論

## (3) 章別の出現頻度

では次に、各章の読解に必要となる語彙にはどのようなものがあるのか、章別の出現状況について見ていくことにする。表5は、章別の出現頻度上位10位までの二字漢語とその出現頻度を示したものである。表中の網掛けをした26語は、その章にだけ出現する語であり、そのうち太字で示した14語は留学生にとって未習の可能性が高いN1以上の語である。

各章の読解にあたり、新たに学習する必要のある語は限られており、前節で抽出した共通学習語彙を習得することで、各章に頻出する語もかなりカバーできることがわかる。しかし、なかに

表5 章別出現頻度上位10語

【第I部】 地域政策を構成する基本政策

都市政策			住宅政策			農業政策			産業政策			交通政策			社会政策		
順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度
1	都市	49	1	住宅	46	1	農業	32	1	産業	37	1	交通	40	1	社会	33
2	政策	37	2	計画	15	2	地域	21	2	地域	31	2	問題	16	2	政策	22
3	地域	12	2	政策	15	3	農村	16	3	活動	13	3	政策	13	3	労働	13
4	立案	10	4	居住	9	4	政策	11	3	企業	13	4	利用	9	4	国家	11
5	問題	7	5	地域	8	5	理念	10	3	政策	13	5	可能	6	5	雇用	10
6	基本	5	6	生活	6	6	経営	7	6	役割	10	5	確保	6	5	主義	10
6	中央	5	7	建設	5	6	食料	7	7	革新	6	5	事業	6	5	生活	10
6	育児	5	7	策定	5	8	基本	6	7	支援	6	5	需要	6	5	保障	10
9	市民	4	9	環境	4	8	農地	6	7	重要	6	9	移動	5	9	資本	8
9	重要	4	9	公営	4	10	生産	5	10	価値	5	9	規制	5	10	高齢	5
9	地方	4	9	社会	4	10	農産	5				9	市場	5	10	社員	5
9	分権	4	9	水準	4	10	保全	5				9	重要	5	10	多様	5
9	文化	4	9	世帯	4							9	地域	5	10	地域	5
			9	制度	4							9	特性	5	10	福祉	5
			9	対応	4												
			9	年度	4												
			9	目標	4												
			9	問題	4												

文化政策			教育政策			福祉政策			保健医療政策			環境政策			観光政策		
順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度
1	文化	33	1	教育	26	1	福祉	37	1	医療	26	1	環境	37	1	観光	32
2	政策	14	2	政策	16	2	地域	28	2	福祉	10	2	汚染	11	2	政策	19
3	地域	8	3	学級	11	3	社会	17	3	市民	8	3	地域	9	3	行政	10
3	問題	8	4	年度	9	4	活動	15	3	保健	8	3	問題	9	4	地方	8
5	社会	7	5	施策	7	5	機能	13	5	緩和	7	5	影響	8	5	明確	7
6	施設	6	5	人数	7	6	協議	10	5	地域	7	5	政策	8	6	施策	6
7	芸術	5	7	審議	6	6	計画	10	5	問題	7	7	手法	6	6	地域	6
7	日本	5	7	地方	6	8	行政	7	8	自治	6	8	社会	5	8	概念	5
7	年代	5	9	委員	5	8	事業	7	8	社会	6	8	対策	5	8	基本	5
10	公共	4	9	計画	5	10	委員	6	8	政策	6	8	腐敗	5	8	公共	5
10	自治	4	9	自治	5	10	社説	6				8	被害	5	8	条例	5
10	振興	4	9	推進	5							8	保護	5	8	制度	5
10	予算	4													8	団体	5

【第Ⅱ部】 地域政策に関する基礎知識

ガバナンス			公共政策			政策科学			ホレウゴバ・ホー子			地方分権と地域主権		
順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度
1	政策	14	1	公共	20	1	政策	42	1	問題	22	1	地方	28
2	政治	11	2	問題	16	2	科学	25	2	計画	17	2	地域	27
3	経営	6	3	政策	15	3	決定	16	3	決定	8	3	改革	20
3	利益	6	4	解決	13	4	問題	12	4	公共	7	4	主権	15
5	漏程	5	5	選択	11	5	知識	10	4	行列	7	5	推進	13
5	陸番	5	6	性質	9	6	実施	6	4	要致	7	6	分権	12
5	概念	5	7	協力	7	6	地域	6	7	意思	6	7	住民	10
5	株主	5	8	個人	6	8	検討	5	7	数値	6	8	自治	8
5	行政	5	9	意識	4	9	分析	4	7	線形	6	8	平成	8
5	組織	5	9	河川	4	9	分野	4	7	評価	6	8	役割	8
5	地域	5	9	行動	4	9	有効	4						
			9	実現	4									
			9	社会	4									
			9	消費	4									
			9	排除	4									

地域概念と地域主義			地域政策			地域づくり			地域政策の担い手			市民参加と協働		
順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度	順位	語彙	頻度
1	地域	31	1	地域	28	1	地域	66	1	能力	25	1	市民	33
2	国家	20	2	政策	27	2	活動	17	2	権利	14	2	参加	25
3	経済	9	3	公共	13	3	住民	9	2	失職	14	3	政策	19
4	集団	8	4	概念	10	4	活性	7	2	民法	14	4	行政	16
5	主義	7	5	地方	8	4	主体	7	5	行為	11	5	段階	9
6	協力	6	6	政府	7	6	人材	6	5	宣告	11	6	課題	8
6	国家	6	7	関係	5	6	抱懸	6	7	死亡	7	6	漏程	8
6	人間	6	7	中央	5	8	再生	5	7	場合	7	6	協働	8
6	世界	6	7	範囲	5	9	自治	4	9	制限	6	6	公共	8
6	政治	6	7	複益	5	9	地方	4	9	成年	6	6	事業	8
									9	相続	6			

は「農業政策」や「地域政策の担い手」のように、その章にしか出現しない語が多く、その分野で使われる語を新たに学ばなければならない章もある。そこで、次節では、特定の章だけに複数回出現し、留学生にとって未習の可能性が高い語を「章別学習語彙」と呼び、出現頻度と語彙の難易度をもとに、該当する語を抽出した。

(4) 章別学習語彙の選定

前述したように、事典に出現した1,357語の二字漢語のうち、1つの章だけに出現する語は778語であった。特定の章にしか出現してなくても、その章のなかで複数回出現している語は重要度が高く、その分野の特徴的な語である可能性が高いと考えられる。そこで、778語の出現頻度を調査し、章内で複数回出現する語がどのくらいあるか調べたところ、2回以上出現する語が188語（24.2%）、1回しか出現しない語が590語（75.8%）であった。表6はこのうち、2回以上出現する188語の語彙レベルの内訳を示したものである。



表6 1章のみに複数回出現する二字漢語の語彙レベル

	級外	N1	N2N3	N4	N5	合計
語数	81	50	47	8	2	188
割合	43.1%	26.6%	25.0%	4.3%	1.1%	100.0%

これを見ると、最も多いのは級外の語で81語（43.1%）、次に多いのがN1レベルの語で50語（26.6%）であり、2章以上に出現する語（表3）と比べ、難易度の高い語の割合が多いことがわかる。級外とN1を合わせた131語は本学部の留学生にとって未習の可能性が高く、各章の読解にあたっては、さらにこの131語を学習する必要がある。

表7は、章ごとに、どのような語を学習しておく必要があるのか、章別の学習語彙をまとめたものである。

表7 章別学習語彙一覧（131語）

	語数	級外	N1
都市政策	4	具現、結節、執行	論理
住宅政策	5	公営、公庫	一律、公団、本格
農業政策	8	営農、集落、多面、直売、農産、農政、保全	加工
産業政策	7	創業、地場、中小	革新、市街、資金、優位
交通政策	6	自体、弱者、需給、派生、必需	独占
社会政策	6	男女	危機、正規、賃金、派遣、貧困
文化政策	5	楽団、所管、省庁	劇団、公立
教育政策	5	埼玉、志木、小学、上限、人数	
福祉政策	5	厚生、社協、民生、連動	有機
保健医療政策	10	救急、受益、人的、待機、病棟、物的	思考、診療、赤字、増進
環境政策	11	汚濁、加害、水銀、水保、土壌、当事、負荷	削減、酸化、振動、廃棄
観光政策	9	京都、差異、施政、奈良、内包、立国	樹立、宣言、論議
ガバナンス	5	株主、共治、行使	秩序、統治
公共政策	4		享受、除外、氾濫、暴力
政策科学	4	過度、解明、手続	志向
オペレーションズ・リサーチ	7	解析、関数、数理、線形	運用、記述、配置
地方分権と地域主権	4	広域、大綱	政権、発足
地域概念と地域主義	6	欧州、下位、帰属	協定、空間、象徴
地域政策	4	公民、高崎、特質	国防
地域づくり	3	阪神、震災、淡路	
地域政策の担い手	13	保佐、後見、始期、失踪、取得、終期、宣告、民法	出生、成年、生死、単独、不在
市民参加と協働	0		

「市民参加と協働」のように、章別学習語彙を追加する必要のない章もあれば、「保健医療政策」や「環境政策」、「地域政策の担い手」のように、10語以上学習語彙を追加する必要のある章もある。

また、このリストのなかには、「埼玉」「志木」「水俣」「京都」「奈良」「高崎」「阪神」「淡路」のような地名や地域名を示す語があり、このような固有名詞が学習語彙に含まれるのが、「地域」を分析対象とする地域政策学の特徴であると言える。JLPTの語彙表には、日本の都道府県名などの固有名詞が入っていないため、「京都」や「奈良」のように留学生にもよく知られた地名が級外に分類されているという問題があるが、地名の認知度には個人差が見られ、読み方が難しい語もあることから、学習語彙のなかでも注意が必要な語だと言えるだろう。

## V 留学生に対する漢字語彙の指導について

ここまで、事典に出現する1,357語の二字漢語について、その出現範囲や出現頻度、難易度を調査し、留学生が事典を読解するうえで必要となる学習語彙の選定を行った。「共通学習語彙」は、複数の章に共通して出現するN1レベル以上の語であり、地域政策学に広く出現する重要な語であると言える。また、「章別学習語彙」は、特定の章だけに複数回出現するN1レベル以上の語であり、各章の読解に必要な特徴的な語であると言える。

どちらの語彙も本学部の留学生にとっては未習の可能性が高く、学習が必要な語彙であるが、まずはすべての留学生に役立つと考えられる共通学習語彙を取り上げ、その読み方と意味、地域政策学における使い方がわかることを目標として学習を進めていくべきであろう。今回選定した共通学習語彙は254語であり、必修科目の日本語の授業のなかで、週1回20語のペースで進めていけば、半期での学習が十分可能な量である。一方、章別学習語彙は特定の章だけに出現する語であることから、共通学習語彙を習得したうえで、各自の履修科目や専攻に応じて、必要な分野の語彙を選択して学習していくと効果的であろう。

このように、授業で取り上げて全員が学習する語彙と、留学生の自主性に任せて個別に学習する語彙とを分けて指導することにより、留学生の漢字学習の負担を減らし、留学生一人一人に必要な語彙を段階的に増やしていくことができると考える。

## VI まとめと今後の課題

本稿では、地域政策学を学ぶ留学生のための学習語彙の選定を目的として、『地域政策学事典』に出現する二字漢語の分析を行った。まず、地域政策学における共通性という観点から語彙の出現範囲を調査し、「共通学習語彙」として254語を抽出した。次に、章別の出現状況について調査し、「章別学習語彙」として131語を抽出した。留学生に必要な学習語彙は、これらを合わせ

た385語であり、二字漢語全体の3割弱の語を学習することで、事典の読解に必要な語彙を効率的に習得することができる。そして、この385語の二字漢語を木暮（2017）で選定した143字の学習漢字の例示語として提示することにより、専門分野に対する留学生の学習意欲を高め、地域政策学で使われる漢字語彙も身に付けていくことができると考える。

今回抽出した語彙のなかには、専門概念を表す語もあれば、専門概念の説明に使われる語もあり、教材を作成する際には例示語として挙げた語彙をさらにカテゴリーに分けて分類する必要がある。また、今回は漢字語彙のなかで最も多かった二字漢語の分析を行ったが、二字漢語がさらに他の語と結びついて複合語を構成する場合もある。特に、四字漢語や六字漢語のような複合語には、専門性の高い語が多いと考えられることから、今後は、地域政策学分野に出現する複合語の分析を進め、留学生の専門語彙学習のための教材作成に取り組んでいきたい。

（こぐれ りつこ・高崎経済大学地域政策学部専任講師）

#### 註

- 1) 留学生のための専門日本語教材や専門用語集、学習辞典には、三枝ほか（2002、2005）や増田ほか（2006）等がある。
- 2) 増田ほか編著（2011）p.7。
- 3) KH Coder (<http://khcoder.net/>) とは、計量テキスト分析のために開発されたフリーソフトウェアである。
- 4) JLPTとは、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定することを目的とし、国内及び海外で実施されている試験である。2009年までは1級（難）～4級（易）の4段階のレベルが設定されていたが、2010年の改定により2級と3級の間のレベルとしてN3が新設され、現在はN1（難）～N5（易）の5段階のレベル設定がなされている。旧試験では出題基準として語彙のリストが公開されていたが、新試験ではそのような基準が公開されていないため、本稿では旧試験の基準に従って判定を行うこととする。なお、語彙レベルの判定には、旧試験の出題基準に従って難易度を判定する「リーディング・チュウ太」(<http://language.tiu.ac.jp/>) の語彙チェッカーを利用し、旧試験の出題範囲に含まれない語は級外、出題範囲に該当する語は新試験のレベルでN1、N2N3、N4、N5と表示することとする。
- 5) 2014年度～2018年度における本学地域政策学部留学生99名の、入学時におけるN1合格率を調べたものである。

#### 参考文献

- 今村和宏（2014）「社会科学系基礎文献における分野別語彙、共通語彙、学術共通語彙の特定」『専門日本語教育研究』16 pp.29-36
- 工藤嘉名子（2007）「『基礎科学』における重要度の高い漢字および漢字語」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』33 pp.27-42
- 木暮律子（2017）「地域政策学を学ぶ留学生のための学習漢字の選定－『地域政策学事典』を資料として－」『地域政策研究』第20巻第3号 pp.31-43
- 三枝令子・橋本正博・青木人志編（2002）『留学生のための法律用語集』一橋大学留学生センター
- 三枝令子・今村和宏・西谷まり（2005）『専門分野の語彙と表現 経済学・商学編<改訂版>』一橋大学留学生センター
- 武田明子（2004）「研究留学生のための科学技術日本語の基本漢字選定に関する考察」『東京国際大学論叢 経済学部編』第31号 pp.57-68
- （2005）「研究留学生に対する科学技術専門書読解のための漢字記述語の分析－化学工学における漢字を含む語－」『東京国際大学論叢 経済学部編』第33号 pp.97-112
- 中川健司（2010）「基礎医学術語を学ぶ上で優先的に学習すべき漢字の選定の試み－二漢字語及び基礎医学術語中の出現漢字傾向調査を基に－」『日本語教育』145号 pp.61-71
- 樋口耕一（2014）『社会調査のための計量テキスト分析』ナカニシヤ出版
- 増田光司・中川健司・佐藤千史（2004）「二漢字語を見出し語とした医学術語学習辞典作成の試み」『専門日本語教育研究』第6号 pp.49-54
- 増田光司・佐藤千史・中川健司・隈井正三（2006）『留学生のための二漢字語に基づく基礎医学術語学習辞典』凡人社

#### 調査資料

- 増田正・友岡邦之・片岡美喜・金光寛之編著（2011）『地域政策学事典』勁草書房